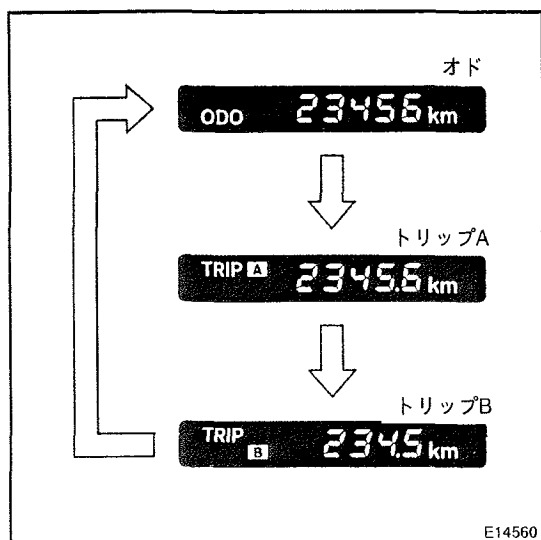


機能点検



1. ODO/TRIPメーター点検

(a) 作動点検

- (1) IGスイッチをONにし、ODO/TRIPスイッチを押す毎に表示モードが、"ODO" → "TRIP A" → "TRIP B" → "ODO" ……に変わることを確認する。

<参考>

IGスイッチONで表示されるモードは、前回IGスイッチをOFFする直前に表示されていたモードが表示される。

- (2) "トリップA、B" モード表示時、ODO/TRIPスイッチを0.8秒以上押し続けた時に表示データがリセットされることを確認する。

2. オイルプレッシャーウォーニング点検

(a) 回路点検

- (1) エンジンオイルプレッシャスイッチASSYのコネクターを切り離す。
- (2) IGスイッチをONにしたとき、オイルプレッシャーウォーニングランプの状態を確認する。

基 準

ウォーニングランプが点灯する

3. シフトポジションインジケーター点検

(a) 回路点検

- (1) ニュートラルスタータスイッチのコネクターを切り離し、IGスイッチをONにする。

- (2) SSTを使用して、ニュートラルスタータスイッチの車両側コネクターの各端子間を短絡し、各ポジションランプの点灯を確認する。

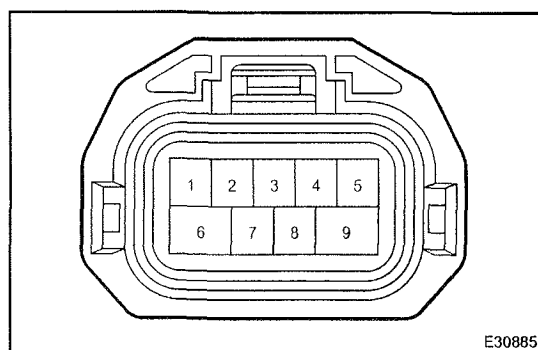
SST 09843-18020

<注意>

Rシフトポジションランプが点灯したとき、コンビネーションメーターに内蔵されたリバースウォーニングブザーが吹鳴することを確認する。

基 準

端子番号	短絡端子	点灯するポジションランプ
1 ⇄ 3	PL ⇄ RB	P
2 ⇄ 3	RL ⇄ RB	R
5 ⇄ 3	NL ⇄ RB	N
7 ⇄ 3	DL ⇄ RB	D
4 ⇄ 3	2L ⇄ RB	2
8 ⇄ 3	LL ⇄ RB	L



4. 運転席シートベルトウォーニング点検

(a) 作動点検

- (1) I GスイッチをONにしたとき、シートベルトウォーニングランプが点滅し、タングプレートを設定したときに消灯することを確認する。

(b) 回路点検

- (1) フロントシートインナベルトASSY RHのコネクターを切り離す。
- (2) I GスイッチをONにする。
- (3) SSTを使用して、ワイヤハーネス側コネクター端子間を短絡したときのシートベルトウォーニングランプの状態を点検する。

SST 09843-18020

基 準

ウォーニングランプが点滅する

<参考>

点滅制御はドライバサイドジャンクションブロックで行っている。

5. 助手席シートベルトウォーニング点検

(a) 作動点検

- (1) I GスイッチをONにし、助手席に乗員が座った状態でパッセンジャーシートベルトウォーニングランプASSYが点滅し、タングプレートを設定したときに消灯することを確認する。

(b) 回路点検

- (1) フロントシートインナベルトASSY LHおよびシートスイッチASSYのコネクターを切り離す。
- (2) I GスイッチをONにする。
- (3) SSTを使用して、フロントシートインナベルトASSY LHおよびシートスイッチASSYのワイヤハーネス側コネクター端子間を短絡したとき、パッセンジャーシートベルトウォーニングランプASSYの状態を点検する。

SST 09843-18020

基 準

ウォーニングランプが点滅する

<参考>

点滅制御はクロックASSYで行っている。

6. スピードメーター点検

(a) 作動点検

- (1) スピードメーターテスターを使用して、スピードメーターの指示誤差と積算計の作動を点検する。

基準値

テスター指示標準速度 [km/h]	メーター指示値許容範囲 [km/h]
20	18～23
40	36～46
60	54～69
80	72～92
100	90～115
120	108～138
140	126～161
160	144～184

<注意>

タイヤ空気圧が不適正だと指示誤差が増加する。

- (2) 指針の振れ幅を点検する。

基準

0.5km/h以内

7. 車速信号入力点検

(a) 回路点検

- (1) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、車両を10km/hで走行させたとき、コンビネーションメータのコネクター各端子間の電圧を測定する。

SST 09082-00030, 09083-00150

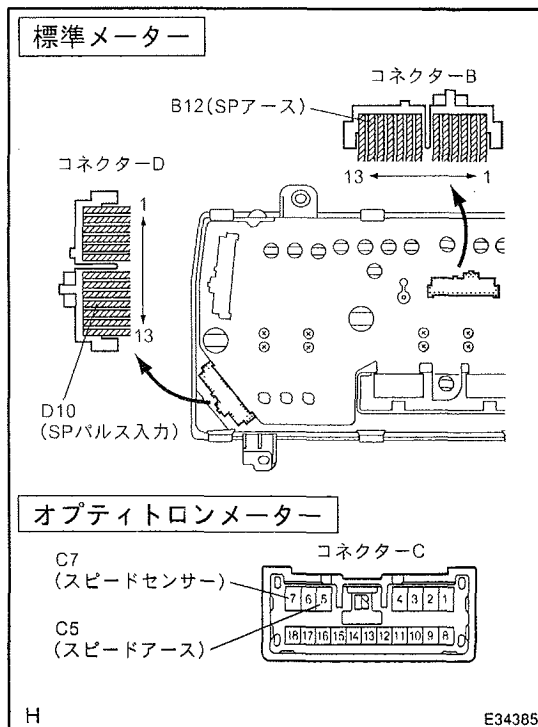
メーター種類	点検端子
標準メーター	D10 (SPパルス) 端子 ⇔ B12 (SPアース) 端子
オプティロンメーター	C7 (スピードセンサー) 端子 ⇔ C5 (スピードアース) 端子

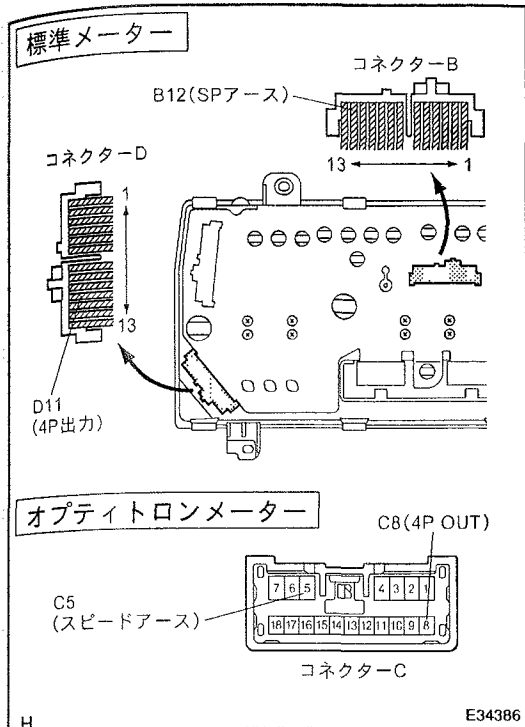
基準

1秒間にH I ⇔ L Oの変化を7回繰り返す

<注意>

I GスイッチON、コネクターを接続した状態で点検する。





8. 車速信号出力（4 P 出力）点検

(a) 回路点検

- (1) SST（トヨタエレクトリカルテスター）を使用して、車両を 10km/h で走行させたとき、コンビネーションメータのコネクタ各端子間の電圧を測定する。

SST 09082-00030, 09083-00150

メーター種類	点検端子
標準メーター	D 1 1（4 P 出力）端子 ⇔ B 1 2（SPアース）端子
オプティロンメーター	C 8（4 P OUT）端子 ⇔ C 5（スピードアース）端子

基準

1 秒間に H I ⇔ L O の変化を 7 回繰り返す

<注意>

I G スイッチ ON、コネクタを接続した状態で点検する。

9. フューエルレシーバゲージ点検

(a) 回路点検

- (1) フューエルセンダゲージ A S S Y のコネクタを切り離す。
- (2) I G スイッチを ON にしたときのフューエルレシーバゲージの状態を確認する。

基準

指針が E を指す

<注意>

指針が落ち着くまで待つ。

- (3) SST を使用して、指針が E を指している状態からフューエルセンダゲージ A S S Y の車両側コネクタの 1 端子⇔ 3 端子間を短絡したときのフューエルレシーバゲージの指針の状態を確認する。

SST 09843-18020

基準

指針が F を指す

<注意>

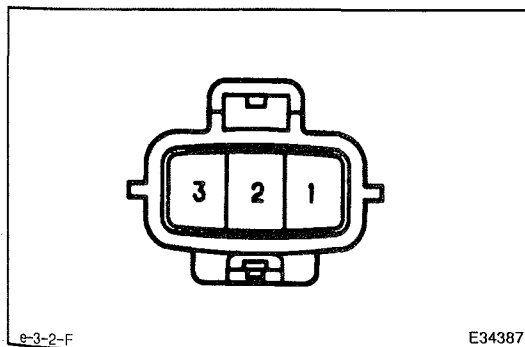
指針が落ち着くまで待つ。

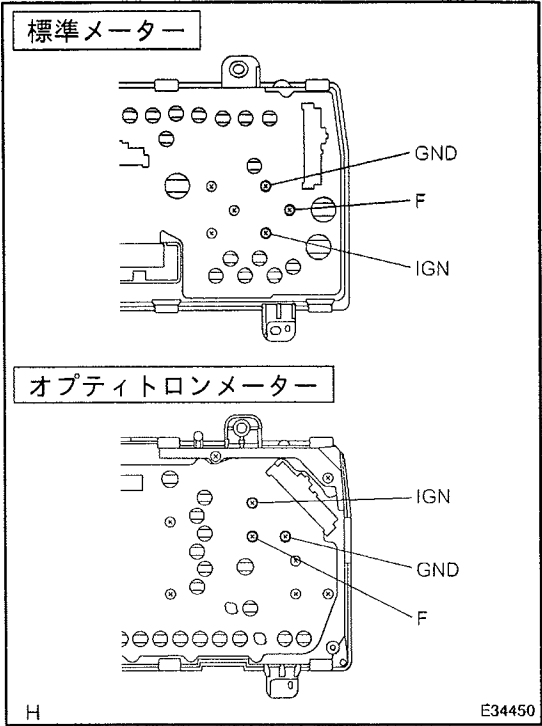
(b) ウォーニング点検

- (1) フューエルセンダゲージ A S S Y のコネクタを切り離す。
- (2) I G スイッチを ON にしたときのフューエルレシーバゲージウォーニングの状態を点検する。

基準

I G スイッチ ON 後、8 ～ 16 秒後にウォーニングランプが点灯する





- (c) 抵抗値点検
- (1) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、各端子間の抵抗値を点検する。
- SST 09082-00030, 09083-00150
- 参考値

標準メーター

測定端子名	抵抗値 [Ω]
F⇔GND	1 0 3
F⇔IGN	1 1 2
GND⇔IGN	2 1 5

オプティロンメーター

測定端子名	抵抗値 [Ω]
F⇔GND	1 0 3
F⇔IGN	1 1 1
GND⇔IGN	2 1 4

10. ブレーキウォーニング点検(フロント対面シートあり)

- (a) 作動点検
- (1) IGスイッチをONにし、パーキングブレーキを引いたときのブレーキウォーニングランプの状態を点検する。
- 基 準
- 点灯する
- (2) パーキングブレーキを引いた状態で、走行したときのウォーニングランプおよびブザーの状態を点検する。
- 基 準

パーキング ブレーキ SW	ブレーキ フルード SW	車速	ランプ	ブザー
ON	OFF	4. 5 km/h未満	点灯	OFF
ON	OFF	5 km/h以上	8～12秒後 点滅	8～12秒後 ON
OFF	ON	—	点灯	OFF
ON	ON	4. 5 km/h未満	点灯	OFF
ON	ON	5 km/h以上	点灯	8～12秒後 ON
OFF	OFF	—	消灯	OFF

<参考>

- ブザーの位置は、ブレーキウォーニングリレー内（標準メーター）およびメータ内（オプティロンメーター）にある。
- 車速 5 km/h以上の状態でパーキングブレーキを引く場合は、8～12秒の遅延は行わず、即ウォーニングランプが点滅し、ブザーが鳴る。

11. コンビネーションメータコンピュータ点検(コンビネーションメータオプティロンメータ付き)

(a) 基準信号点検

- (1) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、各端子間の電圧および導通を点検する。

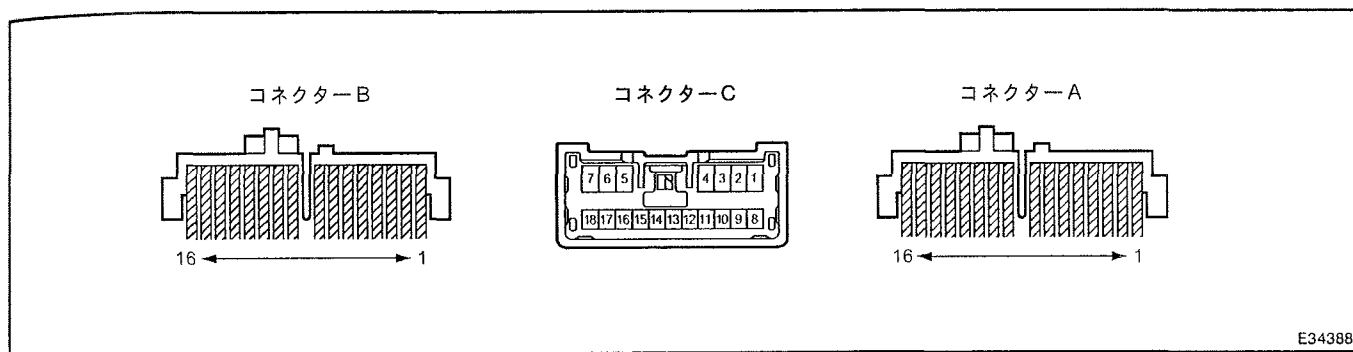
SST 09082-00030, 09083-00150

<注意>

- 測定前に電源点検 (I G O N 時 20 ~ 28 V) およびアース点検 (I G O F F 時 各アース端子 ⇄ ボデーアース間 5 Ω 以下) を実施する。
- コネクタを接続しておきコネクタの裏側から点検する。

- (2) オシロスコープを使用して、各端子間でパルスが発生していることを点検する。

計器 オシロスコープ [20501]



基準

コネクタ A

端子番号	端子記号	入出力	テスター接続 プラス⇄マイナス	項目	測定条件	基準
1	E / G アース	入力	A 1 ⇄ ボデーアース	導通	常時	導通あり
2	TRC OFF	入力	A 2 ⇄ ボデーアース	電圧	I G スイッチ ON、TRC OFF インジケータ 点灯 → 消灯	1 V 以下 → 1.0 ~ 1.4 V
3	TEMP	入力	A 3 ⇄ ボデーアース	電圧	I G スイッチ ON、水温 90℃ 時	0.8 ~ 1.5 V
4	A / T O I L TEMP	入力	A 4 ⇄ ボデーアース	電圧	I G スイッチ ON、A / T O I L TEMP インジケータ 点灯 → 消灯	1 V 以下 → 1.0 ~ 1.4 V
5	ゲージアース	入力	A 5 ⇄ ボデーアース	導通	常時	導通あり
6	FUEL 残量	入力	A 6 ⇄ ボデーアース	電圧	I G スイッチ ON、フューエル残量 ウォーニングランプ 点灯 → 消灯	1 V 以下 → 1.0 ~ 1.4 V
7	FUEL	入力	A 7 ⇄ ボデーアース	電圧	I G スイッチ ON、ガソリン 満タン → 空	約 5.8 V → 約 0.4 V
8	ECT PWR	入力	A 8 ⇄ ボデーアース	電圧	I G スイッチ ON、パターンセレクトスイッチ NORM → PWR	1 V 以下 → 1.0 ~ 1.4 V
9	ビーム	入力	A 9 ⇄ ボデーアース	電圧	ヘッドランプディマースイッチ L o → H i	1 V 以下 → 1.0 ~ 1.4 V
10	A / T L	入力	A 10 ⇄ ボデーアース	電圧	I G スイッチ ON、 シフトレバー L レンジ 以外 → L レンジ	1 V 以下 → 1.0 ~ 1.4 V

端子番号	端子記号	入出力	テスター接続 プラス⇄マイナス	項目	測定条件	基準
11	A/T 2	入力	A11⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 シフトレバー2レンジ以外→2レンジ	1V以下→ 10~14V
12	A/T D	入力	A12⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 シフトレバーDレンジ以外→Dレンジ	1V以下→ 10~14V
13	A/T N	入力	A13⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 シフトレバーNレンジ以外→Nレンジ	1V以下→ 10~14V
14	A/T P	入力	A14⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 シフトレバーPレンジ以外→Pレンジ	1V以下→ 10~14V
15	ターンL	入力	A15⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 ターンシグナルスイッチ 左以外→左	1V以下→ 10~14V

コネクターB

端子番号	端子記号	入出力	テスター接続 プラス⇄マイナス	項目	測定条件	基準
1	ターンR	入力	B1⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 ターンシグナルスイッチ 右以外→右	1V以下→ 10~14V
2	ブレーキ	入力	B2⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 パーキングブレーキを引いた状態→開放	1V以下→ 10~14V
3	グロー	入力	B3⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 グローインジケータランプ 点灯→消灯	1V以下→ 10~14V
4	O/D OFF	入力	B4⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 トランスミッションコントロールスイッチ ON→OFF	1V以下→ 10~14V
5	ABS	入力	B5⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 ABSインジケータ 点灯→消灯	1V以下→ 10~14V
6	チェックE/G	入力	B6⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 エンジン停止中→エンジン回転中	1V以下→ 10~14V
7	フィルター (ディーゼル車)	入力	B7⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 エンジン停止中→エンジン回転中	1V以下→ 10~14V
8	チャージ マイナス	入力	B8⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 エンジン停止中→エンジン回転中	1V以下→ 10~14V
9	チャージ プラス	入力	B9⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ OFF→ON	1V以下→ 10~14V
10	シートベルト	入力	B10⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 運転席シートベルト未装着→装着	1V以下→ 10~14V
11	オイル	入力	B11⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 エンジン油圧ウォーニングインジケータ 点灯→消灯	1V以下→ 10~14V
13	+B	入力	B13⇄ ボデーアース	電圧	常時	10~14V
14	エアバッグ	入力	B14⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 エアバッグインジケータ 点灯→消灯	1V以下→ 10~14V
15	VSC	入力	B15⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 VSCインジケータ 点灯→消灯	1V以下→ 10~14V
16	スリップ	入力	B16⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 スリップインジケータ 点灯→消灯	1V以下→ 10~14V

コネクタC

端子 番号	端子記号	入出力	テスター接続 プラス⇄マイナス	項目	測定条件	基準
1	I G N +	入力	C 1 ⇄ ボデーアース	電圧	I G スイッチ OFF → ON	1 V 以下 → 1 0 ~ 1 4 V
2	一般アース	入力	C 2 ⇄ ボデーアース	導通	常時	導通あり
3	+ B	入力	C 3 ⇄ ボデーアース	電圧	常時	1 0 ~ 1 4 V
4	弱電アース	入力	C 4 ⇄ ボデーアース	導通	常時	導通あり
5	スピードアース	入力	C 5 ⇄ ボデーアース	導通	常時	導通あり
6	S T	入力	C 6 ⇄ ボデーアース	電圧	I G スイッチ ON → START	1 V 以下 → 1 0 ~ 1 4 V
7	スピードセンサ	入力	C 7 ⇄ ボデーアース	電圧	I G スイッチ ON、 プロペラシャフトをゆっくり回転	1 V 以下 ⇄ 1 0 ~ 1 4 V
8	4 P O U T	出力	C 8 ⇄ ボデーアース	電圧	I G スイッチ ON、 プロペラシャフトをゆっくり回転	1 V 以下 ⇄ 1 0 ~ 1 4 V
9	T M パルス	入力	C 9 ⇄ ボデーアース	H z	エンジン回転中	パルス発生
10	I L L +	入力	C 1 0 ⇄ ボデーアース	電圧	ライトコントロールスイッチ OFF → ON	1 V 以下 → 1 0 ~ 1 4 V
11	D ・ D O O R	入力	C 1 1 ⇄ ボデーアース	電圧	運転席ドア 閉 → 開	1 0 ~ 1 4 V → 1 V 以下
12	P ・ D O O R	入力	C 1 2 ⇄ ボデーアース	電圧	助手席ドア 閉 → 開	1 0 ~ 1 4 V → 1 V 以下
13	R ・ D O O R	入力	C 1 3 ⇄ ボデーアース	電圧	リヤ席ドア 閉 → 開	1 0 ~ 1 4 V → 1 V 以下
14	オイルレベル	入力	C 1 4 ⇄ ボデーアース	電圧	I G スイッチ ON、 エンジン停止中 → エンジン回転中	1 0 ~ 1 4 V → 1 V 以下
15	K E Y	入力	C 1 5 ⇄ ボデーアース	電圧	キーアンロックウォーニングスイッチ ON (キー有り) → OFF (キー無し)	1 V 以下 → 1 0 ~ 1 4 V
16	A / T R	入力	C 1 6 ⇄ ボデーアース	電圧	I G スイッチ ON、 シフトレバー R レンジ以外 → R レンジ	1 V 以下 → 1 0 ~ 1 4 V
17	K E Y 照明	出力	C 1 7 ⇄ ボデーアース	電圧	キー照明 消灯 → 点灯	1 0 ~ 1 4 V → 1 V 以下

12. タコメーター点検

(a) 作動点検

- (1) 回転計を接続して、エンジンを始動し、タコメーターの指示誤差を点検する。

計器 回転計 [21801]

基準値

回転計指示 [r/min]	メーター許容範囲 [r/min] () は参考値を示す
700	630~770
1000	(900~1100)
2000	(1875~2125)
3000	2850~3150
4000	(3850~4150)
5000	4850~5150
6000	(5820~6180)

<注意>

エンジンを許容回転数以上（各メーターに表示されているレッドゾーン回転数以上）に回転させない。

(b) 抵抗値点検

- (1) SST（トヨタエレクトリカルテスター）を使用して、タコメーター取り付け端子間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

<注意>

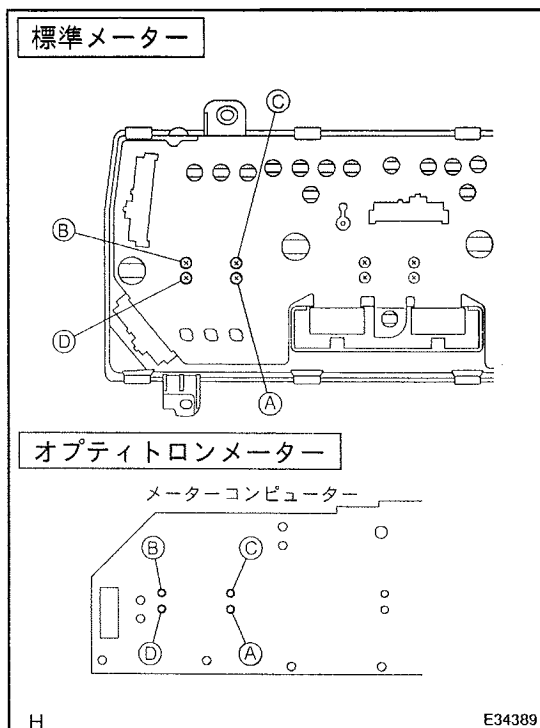
指針が0 r/minを指している状態で測定する。

<参考>

オプティロンメーターはコンビネーションメータケースを取りはずす。

基準値

測定端子名	抵抗値 [Ω]
A⇔B	160
C⇔D	160
A⇔C	∞



13. ウォーターテンパラチャレシーバゲージ点検

(a) 回路点検

- (1) ウォータテンパラチャセンダゲージA S S Yのコネクターを切り離す。
- (2) I GスイッチをONにしたとき、ウォーターテンパラチャレシーバゲージの状態を点検する。

基 準

指針がCを指す

- (3) S S Tを使用して、ウォータテンパラチャセンダゲージA S S Yより切り離したコネクター端子をボデーアースと短絡したときのウォーターテンパラチャレシーバゲージの状態を点検する。

S S T 09843-18020

基 準

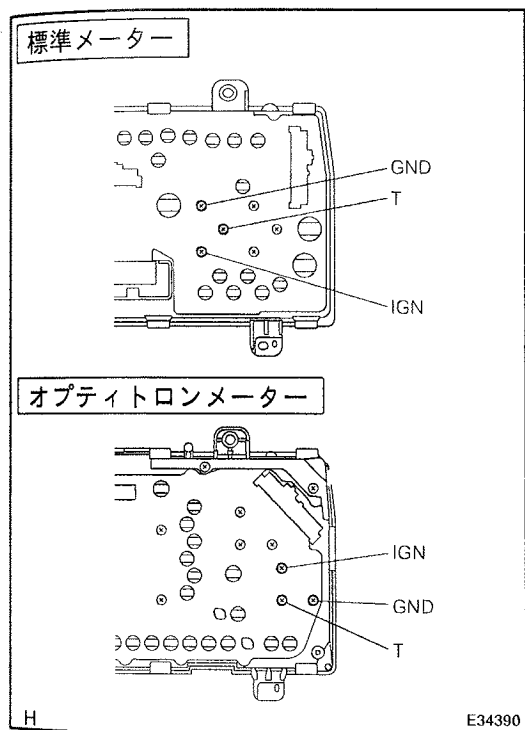
指針がHを指す

(b) 抵抗値点検

- (1) S S T (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、ウォータテンパラチャレシーバゲージの端子間抵抗を測定する。

S S T 09082-00030, 09083-00150

参考値



標準メーター

測定端子名	抵抗値 [Ω]
T ⇄ GND	2 4 7
T ⇄ I G N	9 0
GND ⇄ I G N	1 8 7

オプティロンメーター

測定端子名	抵抗値 [Ω]
T ⇄ GND	2 3 5
T ⇄ I G N	9 0
GND ⇄ I G N	1 7 5

14. セジメンタウォーニング点検(エンジン型式 1 K Z)

(a) 作動点検

- (1) I GスイッチをONにしたとき、セジメンタウォーニングランプが点灯し、エンジン始動後に消灯することを確認する。

(b) 回路点検

- (1) レベルウォーニングスイッチのコネクターを切り離す。
- (2) S S Tを使用して、エンジン回転状態で、レベルウォーニングスイッチのワイヤーハネスコネクター端子間を短絡したとき、セジメンタウォーニングランプの状態を点検する。

S S T 09843-18020

基 準

ウォーニングランプが点灯する

15. エンジンオイルレベルインジケータ点検(エンジン型式 1 K Z)

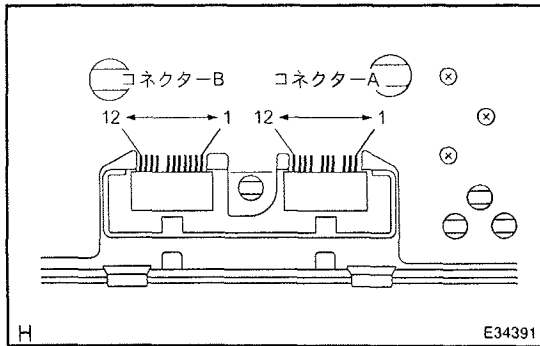
(a) 回路点検

- (1) エンジンオイルレベルセンサのコネクターを切り離す。
- (2) I G スイッチを ON にする。
- (3) S S T を使用して、エンジンオイルレベルセンサのワイヤハーネス側コネクター端子間を短絡したとき、エンジンオイルレベルウォーニングランプの状態を点検する。

SST 09843-18020

基 準

コネクター端子短絡後、38～42秒後にウォーニングランプが点灯する



(b) トータルカウンタモジュールコンピューター点検 (標準メーター)

- (1) S S T (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、トータルカウンタモジュールコンピューター A 1 (B A T T) 端子、A 2 (I G N) 端子にバッテリープラス、A 3 (G N D) 端子、A 6 (O I L L E V E L) 端子にバッテリーマイナスを接続したときの A 5 (O I L L E V - W) 端子⇄A 3 (G N D) 端子間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

油脂・その他 自動車用12Vバッテリー [52506]

基準値

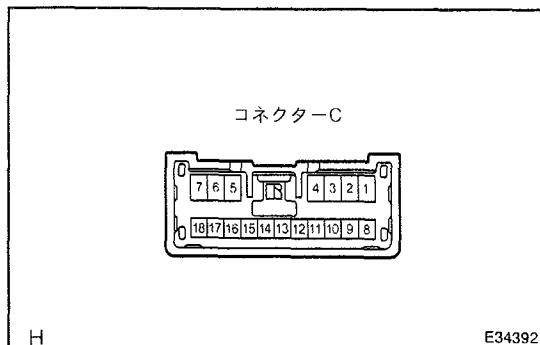
10～14V

- (2) S S T (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、バッテリーを接続した状態から、A 6 (O I L L E V E L) 端子の接続を切り離したとき、A 5 (O I L L E V - W) 端子⇄A 3 (G N D) 端子間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基 準

A 6 (O I L L E V E L) 端子を切り離してから38～42秒後に1.5V以下になる



(c) コンビネーションメーターコンピューター点検 (オプティトロンメーター)

- (1) S S T (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、コンビネーションメーターコネクターの C 1 端子 (I G N) 端子、C 1 4 (オイルレベル) 端子にバッテリープラス、C 4 (弱電アース) 端子にバッテリーマイナスを接続し、C 1 4 (オイルレベル) 端子の接続を切り離したときのオイルレベルウォーニングの状態を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

油脂・その他 自動車用12Vバッテリー [52506]

基 準

ウォーニングランプが点灯する

16. シートスイッチ A S S Y 点検

(a) 抵抗値点検

- (1) シートスイッチ A S S Y のコネクタを切り離す。
- (2) S S T (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、助手席シート着座位置に乗員が座ったときの、コネクタ端子間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

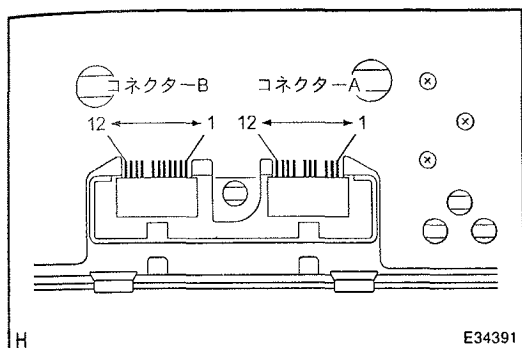
100Ω以下

- (3) S S T (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、助手席シートになにも載せていないときの、コネクタ端子間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上



17. トータルカウンタモジュールコンピュータ点検(コンビネーションメータ標準メータ付き)

(a) 基準信号点検 (標準メーター)

- (1) S S T (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、各端子間の電圧および導通を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

<注意>

- 測定前に電源点検 (I G O N 時 10~14 V) およびアース点検 (I G O F F 時 各アース端子 ⇄ ボデーアース間 5 Ω 以下) を実施する。
 - コネクタを接続しておきコネクタの裏側から点検する。
- (2) オシロスコープを使用して、各端子間でパルスが発生していることを点検する。

計器 オシロスコープ [20501]

基 準

コネクタ-A

端子番号	端子記号	入出力	テスター接続 プラス⇄マイナス	項目	測定条件	基準
1	BATT	入力	A 1 ⇄ ボデーアース	電圧	常時	10~14 V
2	IGN	入力	A 2 ⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ OFF→ON	1 V 以下→ 10~14 V
3	GND	入力	A 3 ⇄ ボデーアース	導通	常時	導通あり
5	OILLEV-W (ディーゼル車)	出力	A 5 ⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 オイルレベルウォーニングランプ 消灯→点灯	10~14 V→ 1.5 V 以下
6	OIL LEVEL	入力	A 6 ⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 オイルレベル 正常→異常 (低下)	10~14 V →1 V 以下
7	DOOR	入力	A 7 ⇄ ボデーアース	電圧	運転席ドア 閉→開	1 V 以下→ 10~14 V
9	S. COS+	出力	A 9 ⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON	4.5 V 以上

端子番号	端子記号	入出力	テスター接続 プラス⇄マイナス	項目	測定条件	基準
10	S. SIN+	出力	A10⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON	0.5V以下
11	S. COS-	出力	A11⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON	0.5V以下
12	S. SIN-	出力	A12⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON	0.5V以下

コネクターB

端子番号	端子記号	入出力	テスター接続 プラス⇄マイナス	項目	測定条件	基準
1	TAIL	入力	B1⇄ ボデーアース	電圧	ライトコントロールスイッチ OFF→ON	1V以下→ 10~14V
2	KEY	入力	B2⇄ ボデーアース	電圧	キーアンロックウォーニングスイッチ OFF (キー無) →ON (キー有)	1V以下→ 10~14V
3	A/T R	入力	B3⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、 シフトレバーRレンジ以外→Rレンジ	1V以下→ 10~14V
4	SP	入力	B4⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ONで駆動輪をゆっくり回す	1V以下⇄ 10~14V
5	SP OUT	出力	B5⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ONで駆動輪をゆっくり回す	1V以下⇄ 10~14V
6	TACHO	入力	B6⇄ ボデーアース	波形	IGスイッチ ON、エンジン回転中	パルス発生
7	TBLT-W (ディーゼル車)	出力	B7⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON、タイミングベルト ウォーニングランプ 消灯→点灯	10~14V→ 1.5V以下
9	T. COS+	出力	B9⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON	4.5V以上
10	T. SIN+	出力	B10⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON	0.5V以下
11	T. COS-	出力	B11⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON	0.5V以下
12	T. SIN-	出力	B12⇄ ボデーアース	電圧	IGスイッチ ON	0.5V以下

18. A/Tオイルテンパラチャウオーニング点検(駆動方式4WD)

(a) 回路点検

- (1) テンパラチャセンサのコネクターを切り離し、SSTを使用して、IGスイッチONでテンパラチャセンサの車両側ワイヤハーネス側コネクター端子間を短絡したとき、A/Tオイルテンパラチャウオーニングランプの状態を点検する。

SST 09843-18020

基準

点灯する

19. T-BELTウォーニング点検(エンジン型式1KZ)

(a) T-BELTモード表示

- (1) ODO/TRIP表示画面を”ODO”にし、IGスイッチをOFFする。
- (2) トリップスイッチを押しながらIGスイッチをONにし、そのまま5秒以上保持する。
- (3) トリップスイッチを離し、再度5秒以内にトリップスイッチを押す。

- (4) T-BELTモードへ移行し、初期設定の”10”（万km）が表示される。

<参考>

メーター交換歴がある場合、表示が初期設定値ではないときがある。

(b) 交換設定値書き換え

- (1) トリップスイッチを押して、交換設定値を書き換える。

条件	設定値
ベルト交換時	10 [万km]
メーター交換時	(10 [万km]) - (メーター交換時の走行距離)

<参考>

1回押すごとに1万km単位で加算され、20万kmで1万kmにもどる。ただし、30秒以上スイッチ操作が行われない場合は前回の設定値のまま”ODO”表示となり、通常モードに戻る。

(c) T-BELTモードの終了

<注意>

T-BELTモードの終了操作を行うと、ベルト交換およびメーター交換を行ってなくてもT-BELTウォーニングがリセットされる。

- (1) 交換設定時の設定後、トリップスイッチを押したまま5秒以上保持し、トリップスイッチを離す。
- (2) ”ODO”表示となり、ウォーニングランプが消灯していることを確認する。

20. トラクションコントロールインジケータ点検(コンビネーションメータオプティロンメータ付き,VSCあり,駆動方式2WD)

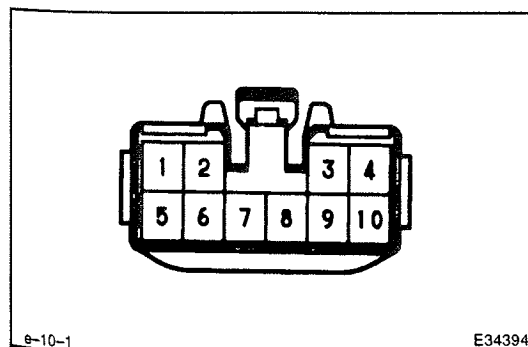
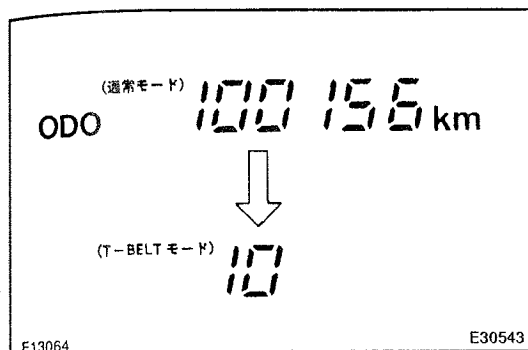
(a) 回路点検

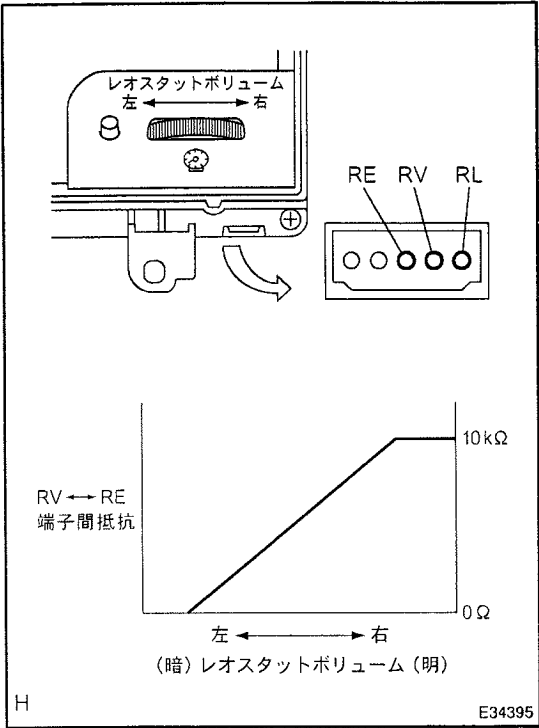
- (1) トラクションコントロールスイッチのコネクターを切り離し、IGスイッチをONにする。
- (2) SSTを使用して、車両ワイヤハーネス側コネクターの6(E)端子→9(+)端子間を短絡したとき、TRCインジケータの状態を点検する。

SST 09843-18020

基準

インジケータが点灯する





21. ライトコントロールレオスタット点検(コンビネーションメータオプティロンメータ付き)

(a) 抵抗点検

- (1) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、ライトコントロールレオスタットボリュームを操作したとき、コネクタの各端子間抵抗および導通を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

端子	抵抗値
RL 端子⇔RE 端子間	10kΩ
RV 端子⇔RE 端子間	ダイヤル最小時 (右回転) 0Ω
RV 端子⇔RE 端子間	ダイヤル最小時 (左回転) 10kΩ

22. メータサーキットプレート No. 2 点検(コンビネーションメータオプティロンメータ付き)

<注意>

- メータサーキットプレート No. 2 は、交換時などの必要時以外は取りはずさない。
- 脱着時は、冷陰極管部に直接手が触れないようにする。

(a) 冷陰極管点検

- (1) 冷陰極管が点灯しない場合は、冷陰極管両端部に変色 (黒または黄) および亀裂がないことを確認する。

23. トリップスイッチ点検(コンビネーションメータオプティロンメータ付き)

(a) 導通点検

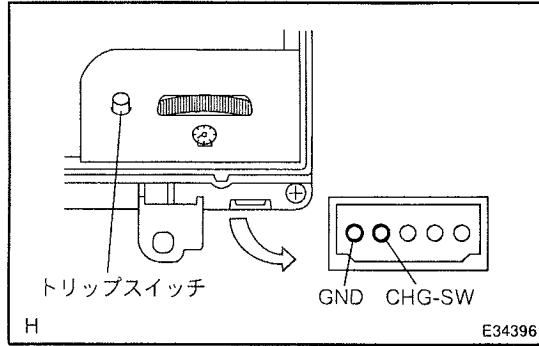
- (1) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、トリップスイッチを操作したとき、CHG-SW 端子⇔GND 端子間の導通を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準

スイッチを押しているとき……………導通あり

フリー時……………導通なし



24. ECT パワーインジケータ点検

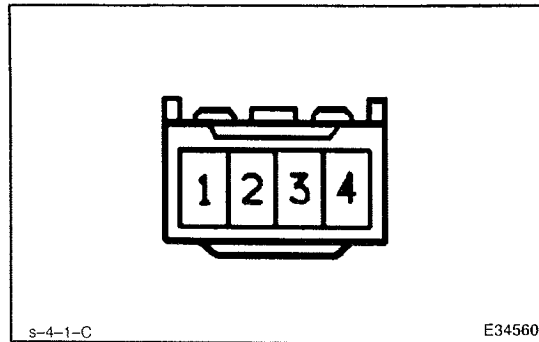
(a) 回路点検

- (1) SST を使用して、パターンセレクトスイッチのコネクターを切り離し、IG スイッチ ON で車両ワイヤハーネス側コネクターの 2⇔3 端子を短絡したときの ECT インジケータランプの状態を点検する。

SST 09843-18020

基準

PWR が点灯する



単体点検

1. フロントシートインナベルトASSY RH、フロントシートインナベルトASSY LH

(a) 導通点検

- (1) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、コネクタ端子間の導通を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準

フリー時……導通あり

タングプレートセット時……導通なし

2. スピードメータASSY

(a) 抵抗値点検

- (1) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、コンビネーションメータASSY裏側のスピードメータASSYの取り付け端子間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

<注意>

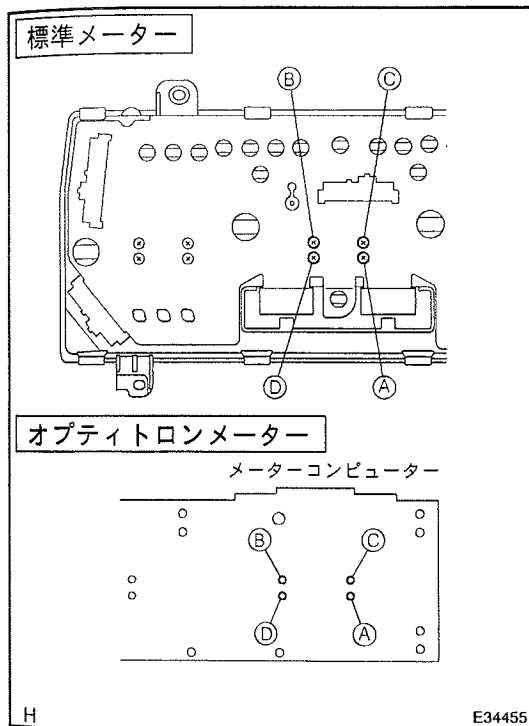
指針が0 km/hを指している状態で測定する。

<参考>

オプティロンメーターは、コンビネーションメータケースを取りはずす。

参考値

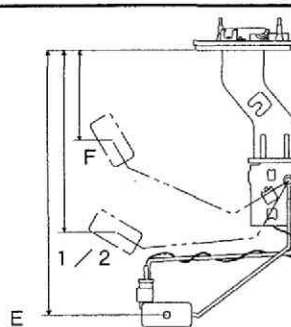
測定端子	抵抗値 [Ω]
A ⇔ B	160
C ⇔ D	160
A ⇔ C	∞





1e-3-1-E

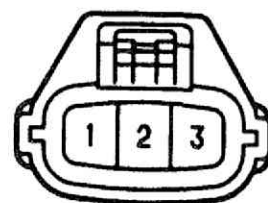
E34451



H

E

E34452



1e-3-1-E

E34451

3. フューエルセンダゲージASSY

<警告>

火気に十分注意する。

(a) 抵抗値点検

- (1) フロートがスムーズに動くことを確認する。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、フロートの位置をE点~F点間で変化させたときのコネクタ1端子⇔3端子間の抵抗を点検する。また、抵抗値が連続的に変化することを点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

レベル	フロートの位置 [mm]	抵抗値 [Ω]
F	69.7 ~ 73.7	1 ~ 4
1/2	143.5	29.5 ~ 35.5
E	201.6 ~ 205.6	105 ~ 115

(b) レベルスイッチ点検

- (1) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、センダゲージを燃料の中から取り出したとき、2端子⇔3端子の導通を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準

導通あり

4. ウォータテンパラチャセンダゲージASSY

(a) 抵抗値点検

- (1) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、ゲージ端子とゲージボデー間の抵抗値を測定する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準

温度 [$^{\circ}\text{C}$]	抵抗値 [Ω]
50	160 ~ 240
120	17.1 ~ 21.2

5. レベルウオーニングスイッチ(エンジン型式1KZ)

(a) 導通点検

- (1) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、端子間の導通を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準

導通あり (フロート上端位置)

導通なし (フロート下端位置)

6. パーキングブレーキ スイッチ ASSY

(a) 導通点検

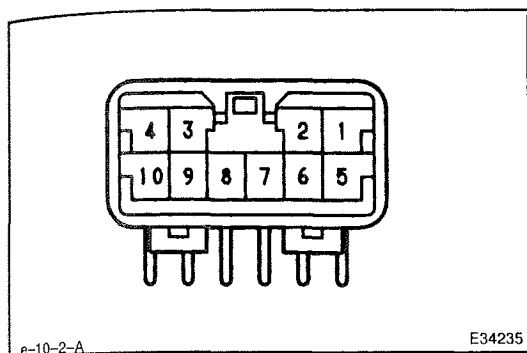
- (1) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、シャフトを操作したときのコネクター端子⇄ボデーアース間の導通を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準

シャフトを押した時……………導通なし

フリー時……………導通あり



E34235

7. ブレーキ ウォーニング リレー

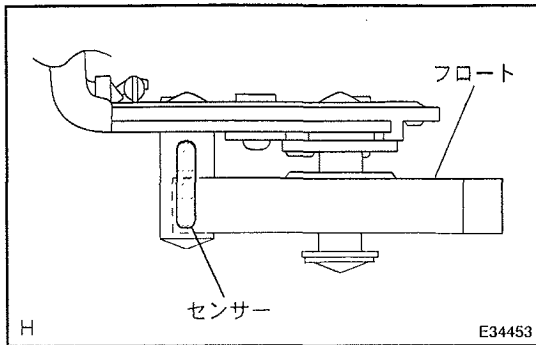
(a) 作動点検

- (1) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、IG スイッチ ON、コネクターを接続した状態で各端子⇄ボデーアース間を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準

端子番号	テスター接続 プラス⇄マイナス	項目	測定条件	基準
1	1⇄ボデーアース	導通	常時	導通あり
2	2⇄ボデーアース	電圧	IG スイッチ OFF→ON	1 V 以下→ 10~14 V
3	3⇄ボデーアース	波形	IG スイッチ ON、駆動輪をゆっくり回す	パルス発生
4	4⇄ボデーアース	電圧	車両停止、IG スイッチ ON、パーキングブレーキ 開放→引く、または、ブレーキフルードレベル 正常→異常	10~14 V →3.5 V 以下
4	4⇄ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON、パーキングブレーキを引く、 ブレーキフルードレベル正常 車両停止→車速 5 km/h で走行	約 10 秒後、 3.5 V 以下 ⇄10~14 V
9	9⇄ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON、パーキングブレーキ開放→引く	10~14 V →1 V 以下



8. エンジン オイルレベル センサ(エンジン型式 1 K Z, 駆動方式 4 WD)

(a) 導通点検

- (1) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、センサーが60℃以上の状態で、フロートを上下したときのコネクター端子間の導通を点検する。

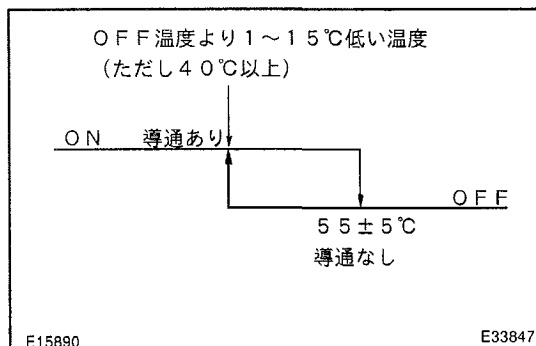
SST 09082-00030, 09083-00150

計器 温度計 [21701]

基準

フロートを上げた時……導通あり

フロートを下げた時……導通なし

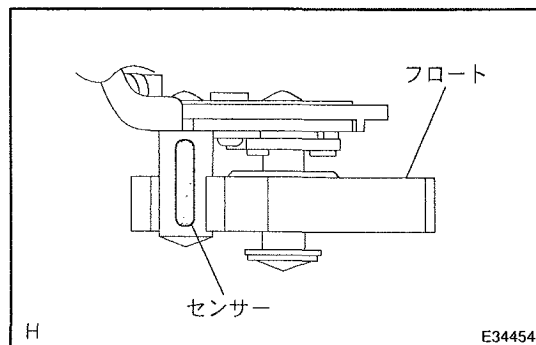


- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、フロートを下げた状態で、センサーの雰囲気温度を変化させたとき、コネクター端子間の導通を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準

図に示す



9. エンジン オイルレベル センサ(エンジン型式 1 K Z, 駆動方式 2 WD)

(a) 導通点検

- (1) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、センサーが60℃以上の状態で、フロートを上下したときのコネクター端子間の導通を点検する。

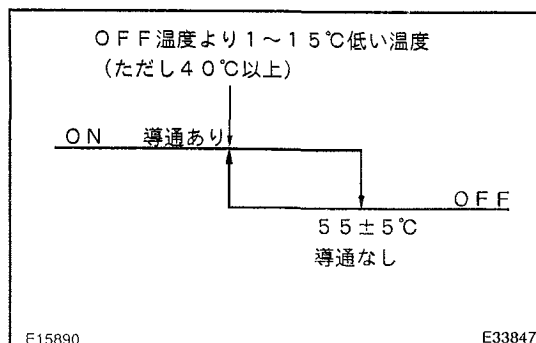
SST 09082-00030, 09083-00150

計器 温度計 [21701]

基準

フロートを上げたとき……導通あり

フロートを下げたとき……導通なし



- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、フロートを下げた状態で、センサーの雰囲気温度を変化させたとき、コネクター端子間の導通を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準

図に示す